

グリーティング

12月に入ると赤が目につきます。サンタクロースの衣装はもちろん、プレゼントのラッピングにも赤はたくさん使われます。私達はその赤から、希望や愛情、めでたさを感じます。人類が最初に認識した色が赤だったそうで、生まれてすぐ認識できる色も赤だそうです。暗い夜から日の出を迎え、太陽が出ると世界に光を与え活動を支え、植物を育み、生物が生きる源になります。その太陽こそが赤の象徴で一日がアケルがアカになったともいわれています。

又、赤には魔よけの意味もあり神社の鳥居が赤なのも、なるほどとうなずけます。何年か前に赤いセーターをもらいましたが、赤の意味を知った今、ほっこりやさしい気持ちになっています。

S. K



畑で見つけた赤い不思議なもの、ミョウガの実です。白い花は見かけますが、赤い実はとてもめずらしい。

技工情報

◎チタン陶材冠

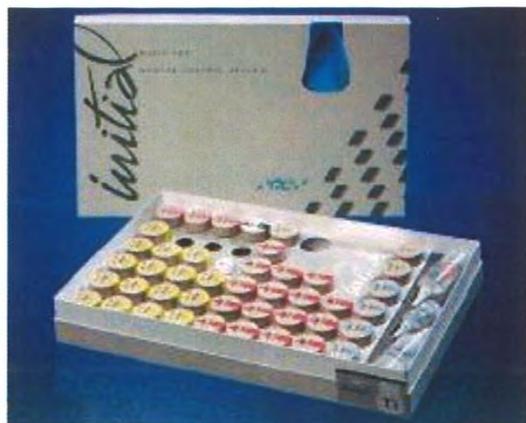
前回ご説明したように、チタンをフレームに用いて通常の陶材冠（ブリッジを含め）を製作する事ができます。

チタン陶材冠においての陶材は、他の金属で使用している陶材とは異なり、専用の物を使用します。

<チタン用陶材 GC イニシャル TI>

チタン用陶材 GC イニシャル TI

天然長石と人工ガラスセラミックをバランスよく配合、天然歯特有の光学特性を再現するとともに、チタンに特化した熱膨張係数にコントロールされています。



シンプルな築盛でVITAクラシカルシェードを忠実に再現。全50色以上に及ぶエフェクトパウダーを応用することで、天然歯のような深みのある複雑な色調を再現できます。



デンチンの焼成温度を890℃に設定することでフレーム材料の酸化が軽減できます。（チタンの溶融温度は1720℃）